

第10回日本気象学会夏期特別セミナー（若手会夏の学校）の報告

第10回若手会夏の学校実行委員会*

1. はじめに

第10回日本気象学会夏期特別セミナーは、1998年7月18日（土）から7月20日（月）まで2泊3日の日程で、福島県耶麻郡猪苗代町の国立磐梯青年の家において、筑波大学・茨城大学が幹事となって開催された。GAME関連の観測などで参加者の減少も懸念されたものの、参加者数は100名に達した。

2. 日程と講演

今回の夏の学校では、招待講演、一般講演、ポスターセッションが企画された。

初日は午後の受付の後に、開校式、招待講演、懇親会が行われた。2日目は午前中に2会場に分けて一般講演が、午後にはポスターセッション1が行われた。3日目は午前中にポスターセッション2、閉校式が行われ、午後からは希望者がオプションツアーとして南会津郡下郷町の中山風穴の観測に参加した。

●招待講演（各1時間）

真鍋淑郎（地球フロンティア研究システム）

“The Role of Thermohaline Circulations in Climates”

GFDL 大気-海洋結合モデルによる数値実験に基づいて、気候変動に対する熱塩循環の役割について話された。

水野一晴（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

「アフリカ、ケニア山における環境変遷と植生の遷移」

ケニア山 Tyndall 氷河の過去1000年間の消長、それに伴う氷河地形の形成や植物の遷移を通して、今後の地球温暖化がアフリカ高山の生態系に及ぼす影響について話された。

真鍋・水野両先生には、その後の懇親会や、翌日の一般講演・ポスターセッションに至るまで参加していただくことができたため、貴重なお話をうかがうことができた。

●一般講演（各50分）

田 少奮（地球フロンティア研究システム）

「華中の春の長雨の気候学的特徴とメカニズム」

高田英太郎、岩田総司、北角友和、前田芳恵（日本気象協会）

「これからの気象情報を考える～民間気象会社が進める生活対応型気象情報の提供について～」

渡部雅浩（東京大学気候システム研究センター）

「簡易大気-海洋系における中緯度10年振動」

田中博春（東京都立大学）

「八ヶ岳南麓における高標高気温逆転現象と斜面温暖帯の関係について」

内藤陽子（京都大学）

「冬期成層圏循環の年々変動と赤道 QBO」

野原大輔、横井みずほ（筑波大学）

「累積風穴の成因に関する観測的研究」

講演・質疑に50分、休憩・移動に10分として、2会場に別れて行われた。

* 長谷川 聡・早崎将光・福富慶樹・荒川 理・堀 正岳・梶川義幸・野原大輔・寺尾有希夫・阿部 学・渡来 靖（筑波大学地球科学研究科）中田彩子・兼平 藍・村上裕之（筑波大学環境科学研究科）原 政之・吉野 純・横井みずほ（筑波大学自然学類）植竹哲平・西塔友紀・古谷田弘子（茨城大学理工学研究科）橋本智帆（東京大学気候システム研究センター）。

●ポスターセッション

両日ともに2時間を割り当て、概要紹介30分、コアタイム30分を2枠、残りを自由討論に当てた。若手中心の集まりであるということで、研究途中の内容でも積極的に発表いただくようお願いしたこともあって、発表件数は23件にのぼった。

3. おわりに

今回の夏の学校では、参加者への開催通知・参加申込受付などは電子メールを中心にを行い、終了後のアンケート・写真注文などはWWWを用いて行われ、実行

委員会の負担の軽減につながった。しかし、これらの電子媒体を利用できない参加者もおられるので、今後の運営でも代替手段を確保する必要があると思われる。

また既報の通り、1999年度は名古屋大学の主幹による開催が予定されている。

今回の夏の学校の開催にあたっては日本気象学会講演企画委員会から補助をいただいた。国立警梯青年の家ならびに協力していただいた関係各位に対して深く感謝します。

第11回日本気象学会夏期特別セミナー（若手会夏の学校）開催のお知らせ

第11回夏の学校実行委員会

記

日 時：1999年7月17日（土）午後
～19日（月）午前（2泊3日）
場 所：三重県立鈴鹿青少年センター
三重県鈴鹿市住吉町南谷口（鈴鹿サーキット隣）
（近鉄白子駅よりバスと徒歩で約20分）
定 員：100名程度を予定
参加申込締切：5月31日
連絡・問い合わせ先：
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学 大気水圏科学研究所内
第11回気象学会夏の学校実行委員会
代表：若月泰孝
TEL：052-789-3494（研究所第1分野）
FAX：052-789-3436（研究所研究協力室）
E-mail：gakkou99@cumulus.ih.as.nagoya-u.ac.jp
URL：http://ymss99.ih.as.nagoya-u.ac.jp/

日本気象学会夏期特別セミナー（夏の学校）は、若手研究者同士の研究に関する議論と情報交換の場として、また親睦を深める場として、毎年開かれている行事です。11回目の今回は、名古屋大学が主幹となり、三重県鈴鹿市で開催することになりました。内容は招待講演、一般講演、ポスターセッションなどを予定しています。この機会にたくさんの研究発表や議論を繰り広げていただくと幸いです。また学会等では発表しにくい基本的な内容の議論や、分野を越えた交流を試みてはいかがでしょうか。

要項、参加申し込みをご希望の方は、下記の連絡先までお知らせ下さい。併せて、講演やポスターセッションでの発表、自主企画等も募集しております。交通費を除くセミナーの参加費は、10,000円程度を予定しています。多数の方のご参加をお待ちしております。また、最新情報や詳細は、YM-net や下記の URL で順次お知らせします。